

行動推定AI拡販

ノバラックス、監視作業支援

画像認識
15m先まで

ノバラックスジャパン（東京都品川区、
薦田紳義社長）は、物流倉庫や福祉施設な
どに画像認識や行動推定用のAI（人工知
能）ソリューションを拡販する。約35%出
資するAIRUCA（アイルカ、東京都千代
田区、金延純男社長）と連携し、15m程度
先までの画像検知・認識機能を強みに、盗
難や利用者転倒などの監視作業の効率化を
提案する。ノバラックスはAI関連事業を
強化し、全社売上高を2029年3月期に
は従来比4割増の43億円に高める計画だ。

ノバラックスジャパ
ンは組み込みコンピュ
ーターシステムの受託
設計を手がけ、自動車



福祉施設やスポーツジムなどに
AIを活用した転倒検知ソリュ
ーションを拡販する

AIRUCAはAIによ
る物体認識、外観検査
り、相乗効果を引き出

す。
両社はこれまでに会
員制スポーツジム向け
の「転倒者検知システ
ム」「共連れ検知シス
テム」などを供給。既
存のカメラシステムに
後付けして、顧客の安
全・安心確保や管理業
務の効率化、コスト低
減などを図っている。

とされるが、AIRU
CAは倍程度を可能に
した。独自の画像認識
アルゴリズムを開発し
たためで、骨格認証と
パターン認証で、検知
率が高いのが特徴だ。
ノバラックスは半導
体・電子部品商社の新
光商事の完全子会社。
AIのボックスパソコ
ンでは台湾のAAEO
N Technology
gyと協業している。